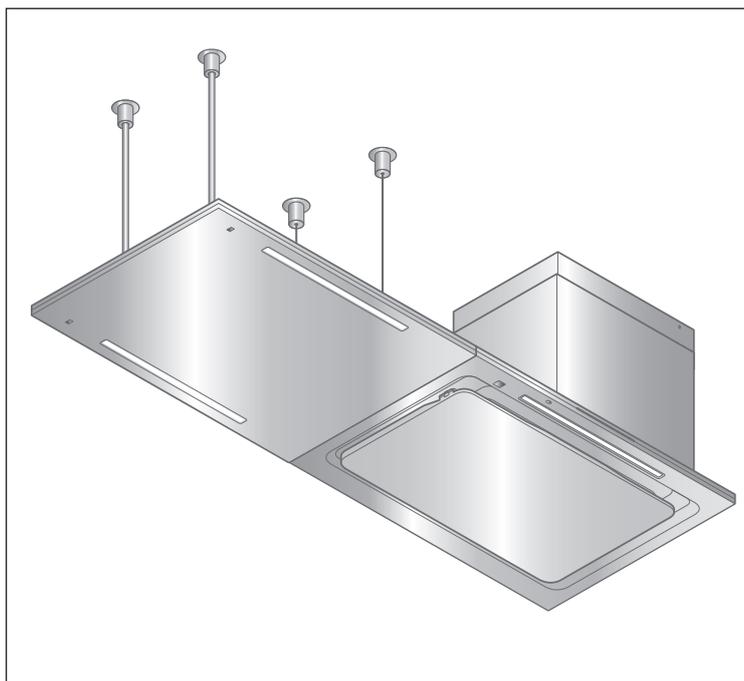


レンジフード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意.....	2 ~ 3
取り付け上のお願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	5 ~ 7
各部のなまえ.....	8
製品寸法図.....	9
付属品.....	10 ~ 12
取り付けかた.....	13 ~ 35
1. 付属品の確認.....	13
2. 排気方向の決定.....	14 ~ 15
3. 排気用部品の準備.....	16
4. ワイドスパンユニットの取付準備.....	17 ~ 19
5. 本体の取り付け.....	20 ~ 21
6. ダクトと排気用部品の接続.....	22
7. 整流板の取り付け.....	23
8. ワイドスパンユニットの準備.....	24
9. ワイドスパンユニットの取り付け.....	25 ~ 32
10. 電気配線.....	33
11. ダクトカバーの取り付け.....	34
12. 試運転.....	35
13. お客様への説明.....	35

本書では、右側にレンジフード、左側にワイドスパンユニットを取り付ける場合を示します。
それらの位置が逆となる場合は、取付方法は左右対称となります。

販売店・工事店様へ：
この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1B03 F181



* 1 B 0 3 F 1 8 1 *

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



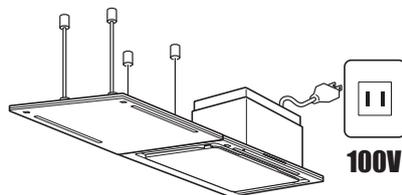
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります

安全上のご注意

警告



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

火災・故障の原因になります



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラステ網など）と接触しないよう取り付けること

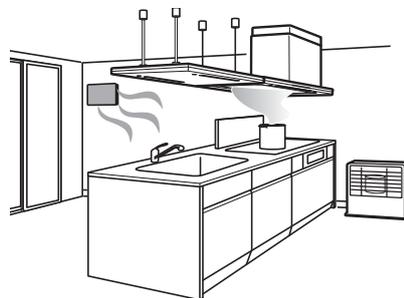
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと

（浴室用換気扇をお使いください。）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

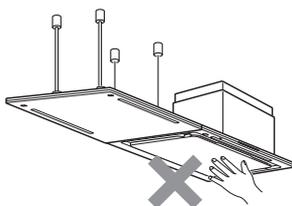
火災・故障の原因になります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと

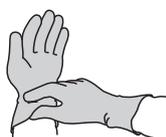
けがをするおそれがあります



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

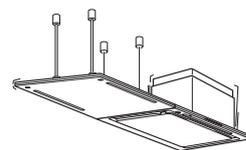
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードおよびワイドスパンユニットの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

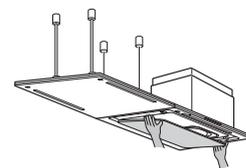
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



取扱注意

- 作業は 2 人以上でおこなうこと

レンジフードは最大 34kg、ワイドスパンユニットは最大 15kg の重さがあります



取り付け上のお願ひ

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

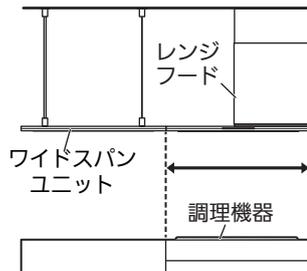
- 大工工事
【設置のための下地工事等】
- 配線工事
【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
- 管工事
【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

● ダクトの不燃処理について

- ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。

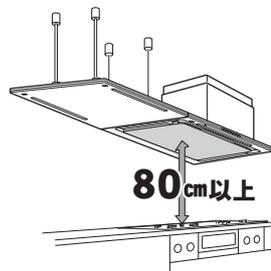
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。また、調理機器はレンジフードの前後左右からはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。



● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

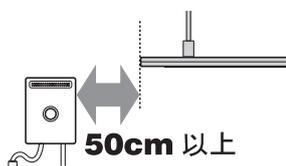
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

● レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。



● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けしてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



● 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

● 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。

● 寒い地域ではダクトが結露し、レンジフード内に結露水が流れる場合がありますので、不燃処理された断熱材を巻くなどの対応をしてください。

● ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：勾配 1/100 ~ 1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

● レンジフードの配線工事の際は、壁スイッチを使用しないでください。レンジフードへの通電が遮断されますと、お手入れ時期の表示（お手入れランプ）を正しくお知らせできなくなります。

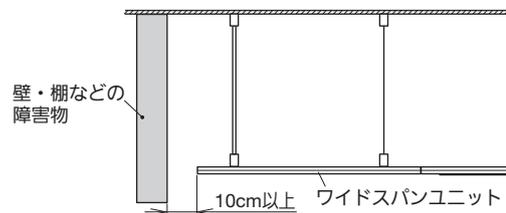


● レンジフード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

● 天井（石膏ボード）は 12.5mm 以下の厚みの物を使用してください。

● パイプおよびワイヤーを取り付ける野縁は、厚み 45 ~ 50mm、かつ幅 60mm 以上としてください。

● 取り付けのために、壁・棚などの障害物からワイドスパンユニットまでの距離が 10cm 以上になるようにしてください。



● 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

● 風量おまかせ運転（風量自動切替）機能を正しくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります

注意



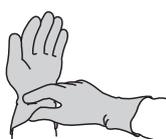
取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります



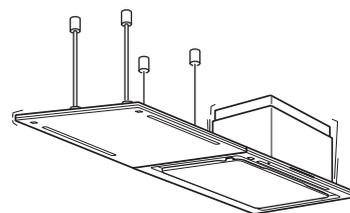
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードおよびワイドスパンユニットの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取り付け前の調査と準備

1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

■ 天井および壁の強度について

本体重量と使用時の重量に対して、変形・落下しない十分な強度を持たせてください。

- 製品の総重量は右表の通りです。

製品質量	レンジフード	最大 34kg
	ワイドスパンユニット	最大 15kg

※ 製品を支える十分な強さを確保してください。必要となる強度は建物の条件、耐震クラスにより異なります。

■ 壁が板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）

- 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

■ コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■ 土壁の場合

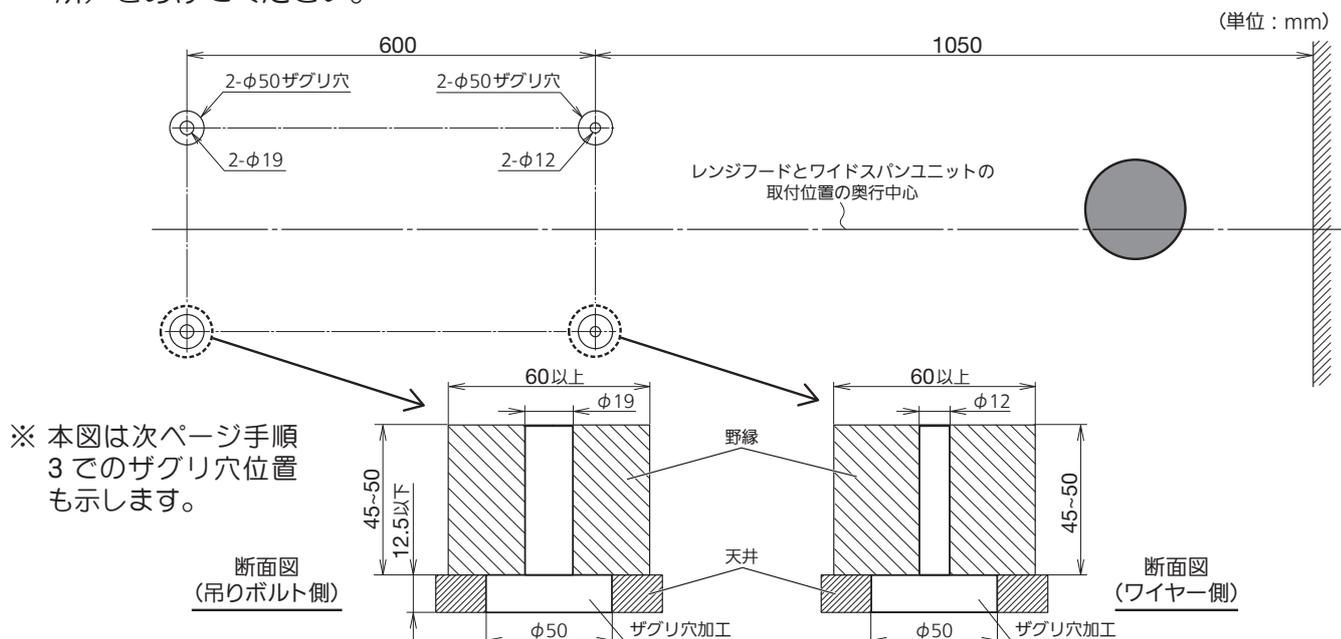
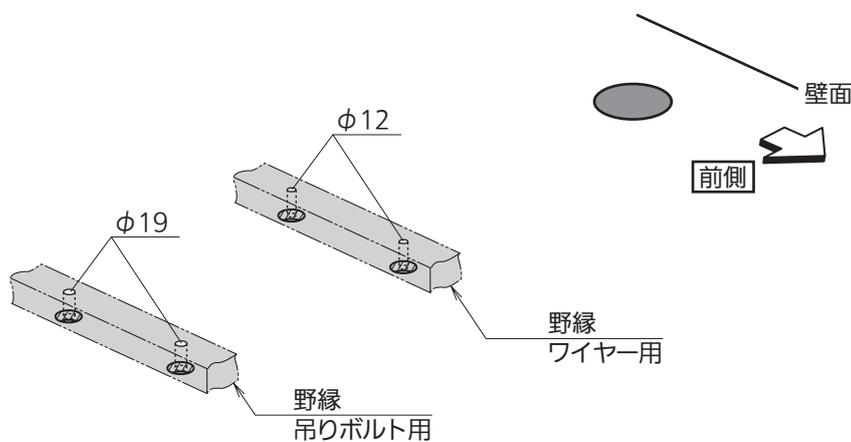
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

2 野縁の設置

- 1) 下図を参照し、天井面のワイドスパンユニットを取り付ける位置に野縁を設けてください。

※ 野縁のサイズは幅 60mm 以上、厚さ 45～50mm としてください。

- 2) 野縁のボルトとワイヤーの吊り位置にφ12とφ19の穴（各2ヶ所）をあけてください。



取り付け前の調査と準備

3 天井面への穴開け加工

天井面のワイドスパンユニットを固定する吊りボルト・ワイヤー位置（各2ヶ所、前ページ手順2の野縁穴開け同位置）それぞれに、手順2-2) 図を参照しザグリ穴加工をおこなってください。

お願い

ザグリ穴加工の際に、野縁等を破損しないようご注意ください。

4 別売部品の準備

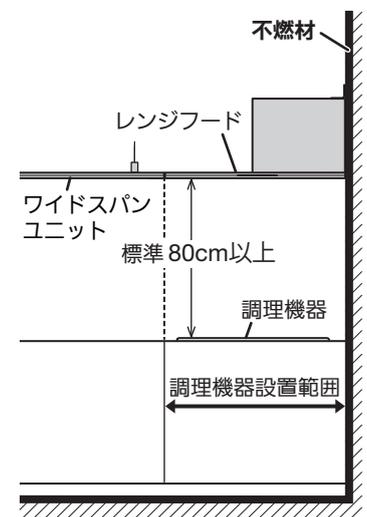
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

5 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器上面から製品前面の下端まで80cm以上です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルター（ディスク）の下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。

※ 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。また、調理機器はレンジフードの前後左右からはみ出して設置しないでください。（ワイドスパンユニットの下には設置しないでください。）捕集性能が低下します。



6 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・单相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2極接地極付差込接続器（15A 125V）をご使用ください。

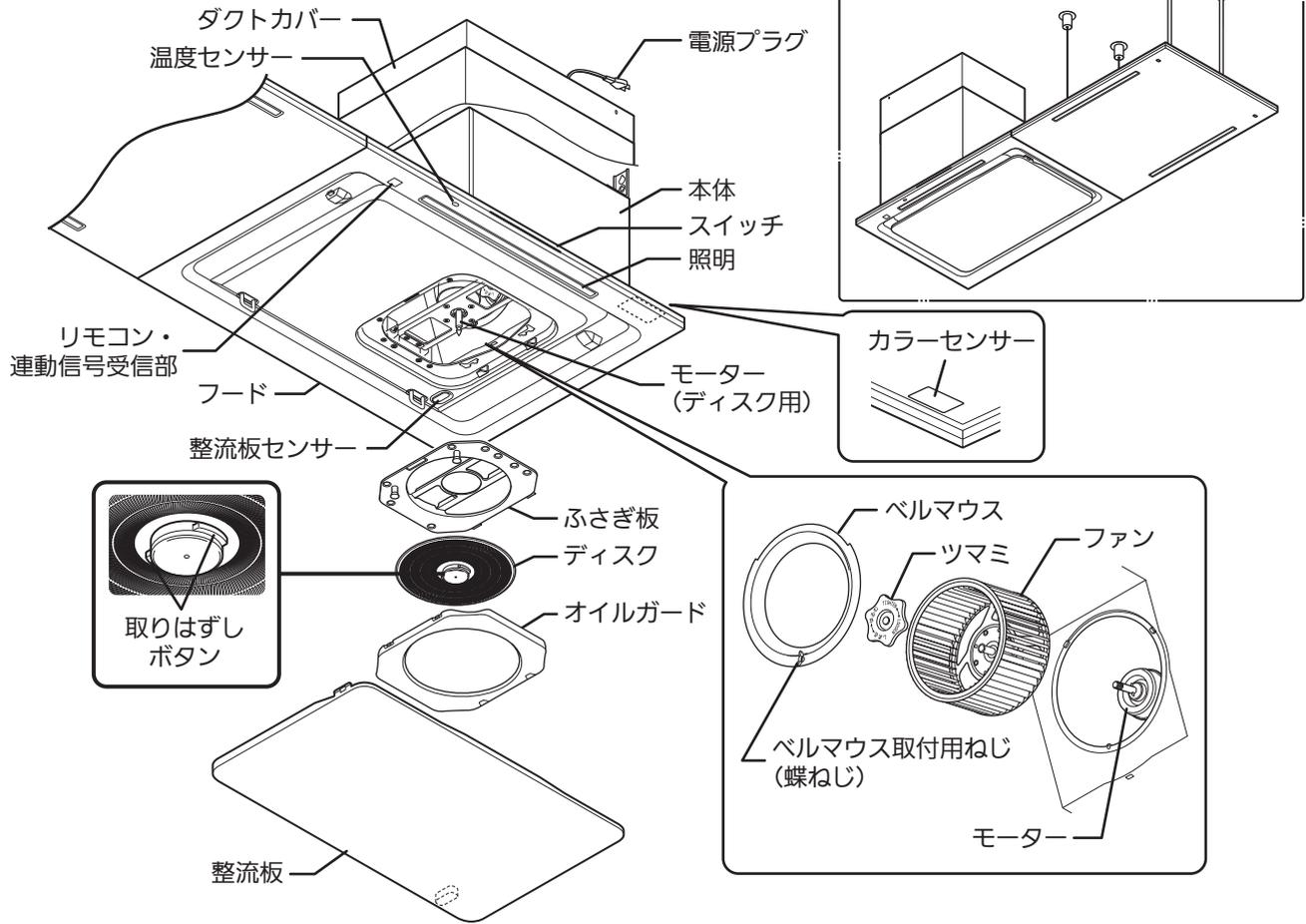
※ 電源コンセントの推奨設置位置については「10. 電気配線」（33ページ）をご参照ください。

お願い

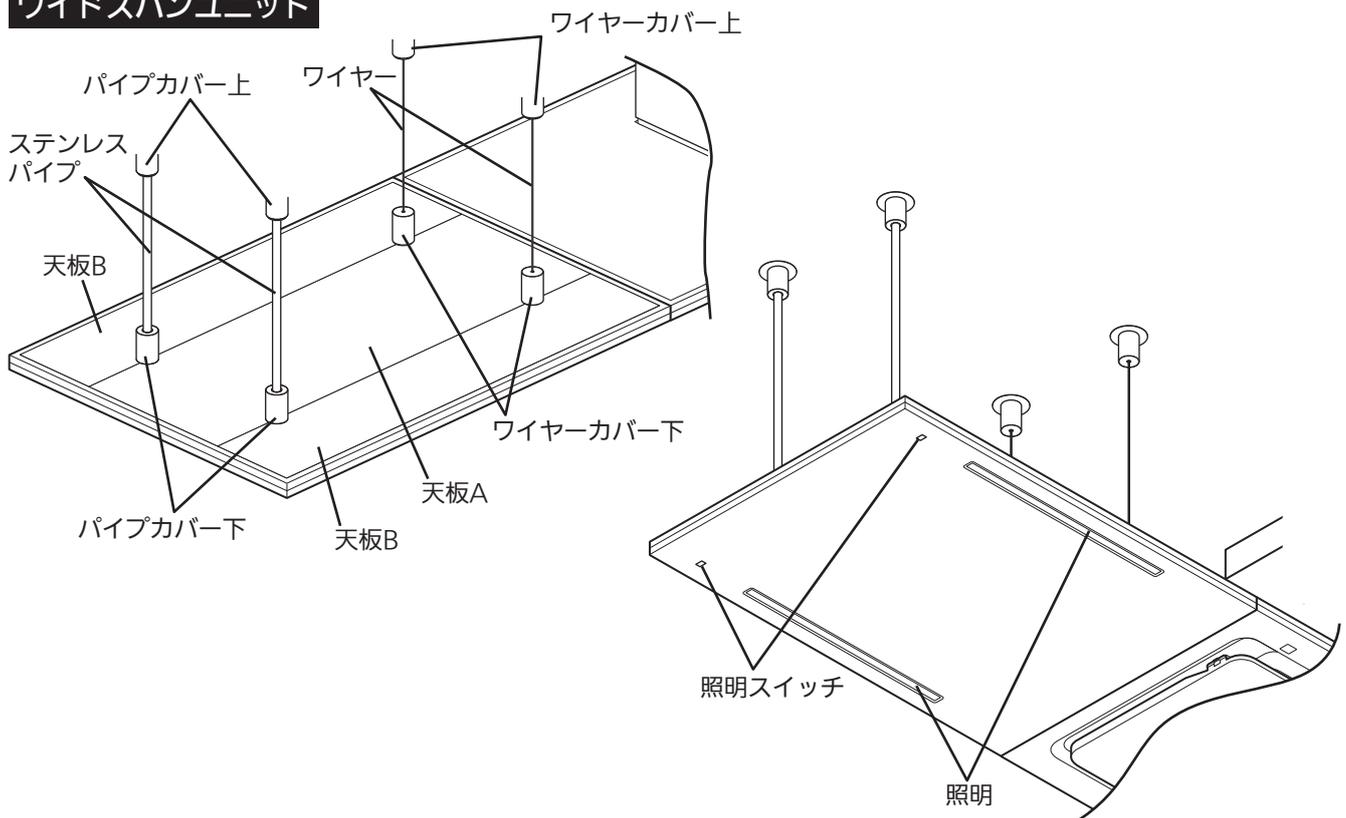
必ずアース工事（D種接地工事）をしてください。レンジフードが誤作動することがあります。

各部のなまえ

レンジフード



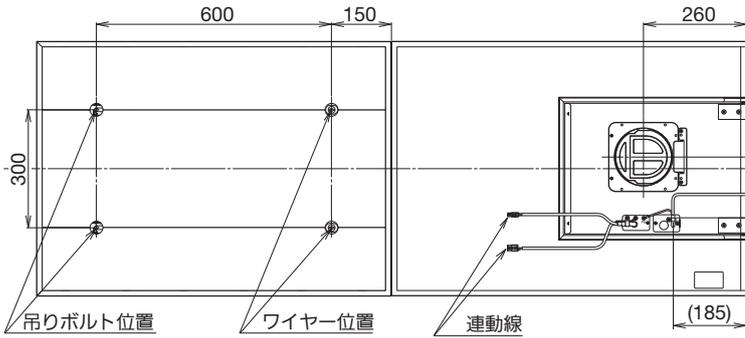
ワイドスパンユニット



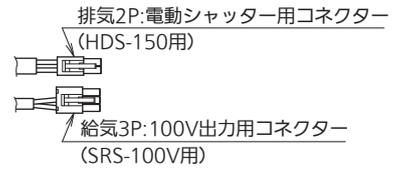
製品寸法図

(単位：mm)

〔右壁取付タイプ〕

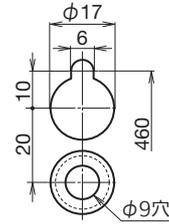
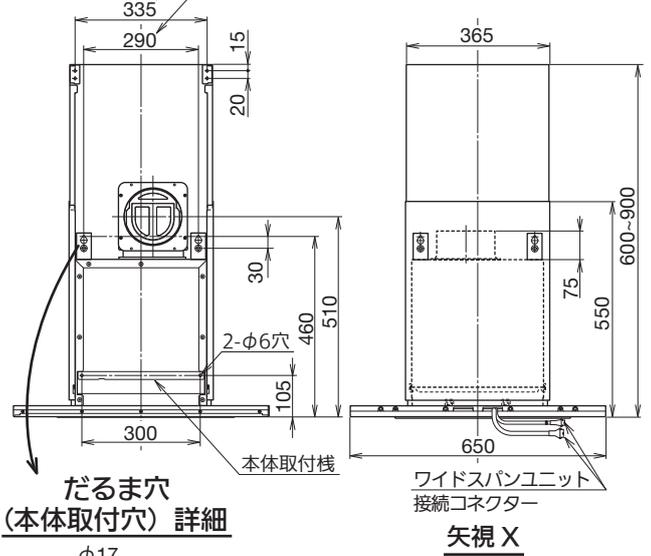
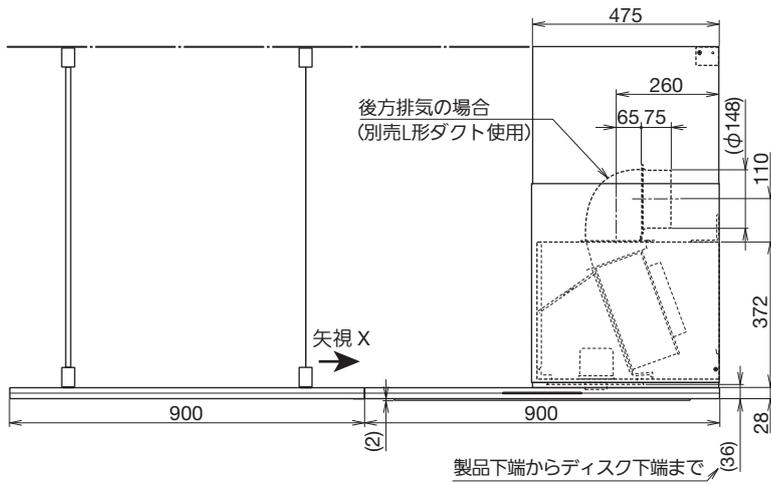


連動線詳細図

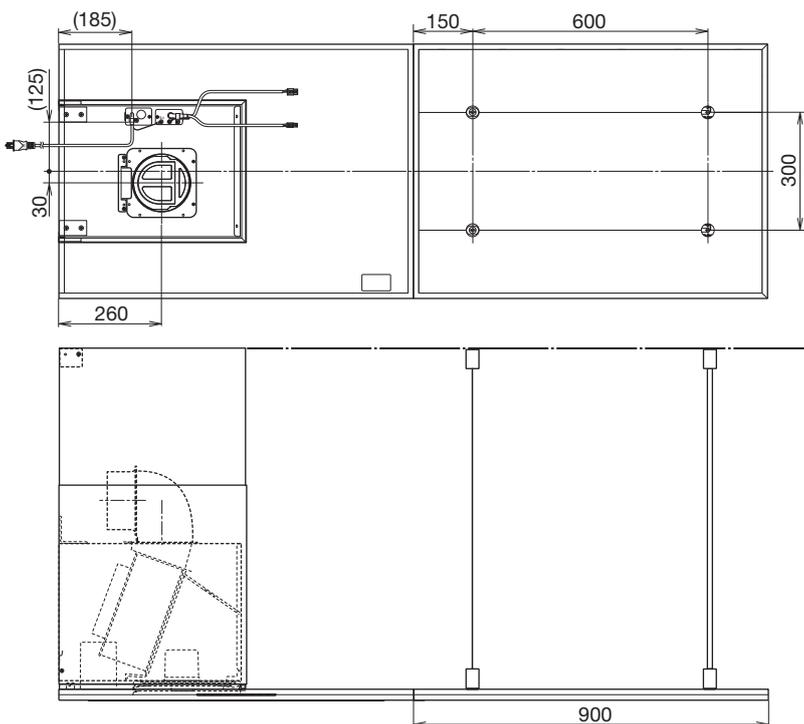


電源プラグ: 機外長1m

ダクトカバー
吊り金具取付穴位置
本体取付穴位置

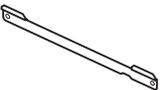
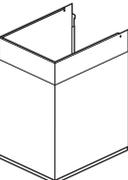


〔左壁取付タイプ〕



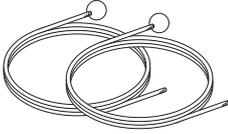
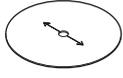
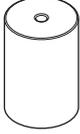
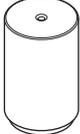
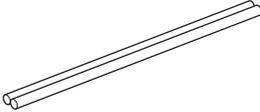
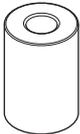
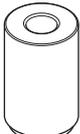
付属品

■ レンジフード用

	<p>座付ねじ (φ 5.1 × 45) (10 本)</p>	<p>本体、本体取付棧およびダクトカバー吊り金具の取り付けに使用します。</p>
	<p>化粧ねじ (M4 × 8) (2 本)</p>	<p>ダクトカバー内側スライド部の固定に使用します。</p>
	<p>ソフトテープ (1 本)</p>	<p>排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使用します。</p>
	<p>排気口 (1 個)</p>	<p>本体とダクトの接続に使用します。 逆風防止シャッター付きです。</p>
	<p>本体取付棧 (1 個)</p>	<p>本体の取り付けに使用します。</p>
	<p>整流板 (1 個)</p>	<p>本体に取り付けて使用します。</p>
	<p>ダクトカバー (1 個)</p>	<p>ダクト取付部をカバーします。</p>
	<p>ダクトカバー吊り金具 (2 個)</p>	<p>ダクトカバーの取り付けに使用します。</p>

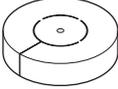
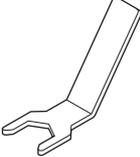
付属品

■ ワイドスパンユニット用

	ワイヤー (2本)	天井からのフードの吊り下げに使用します。 ※ 片側端部がボール状にかしめられています。
	ワイヤー取付金具 (2個)	天井側のワイヤーの固定に使用します。
	カバープレート (ワイヤー用) (2枚)	天井のワイヤー固定部の穴をふさぐために使用します。 ※ おもて面に目方向を示す刻印があります。
	ワイヤーカバー上 (2個)	天井側のワイヤー末端を隠すために使用します。
	ワイヤーカバー下 (2個)	フード側のワイヤー末端を隠すために使用します。
	ステンレスパイプ (2本)	吊りボルトを隠すために使用します。 ※ パイプカッターなどの工具で規定の長さにカットする必要があります。
	高ナット (M10 × 25) (2個)	天井側の吊りボルトの固定に使用します。
	カバープレート (パイプ用) (2枚)	天井の吊りボルト固定部の穴をふさぐために使用します。 ※ おもて面に目方向を示す刻印があります。
	パイプカバー上 (2個)	天井側のステンレスパイプ末端を隠すために使用します。
	パイプカバー下 (2個)	フード側のステンレスパイプ末端を隠すために使用します。
	フランジ付きナット (M10) (6個)	吊りボルトの固定に使用します。

(次ページへ続く)

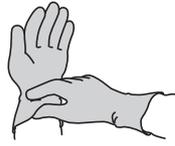
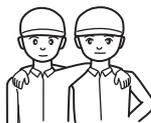
■ 付属品

	<p>木ねじ (φ 4.1 × 32) (10 本)</p>	<p>ワイヤー取付金具の固定に使用します。</p>
	<p>六角穴付きボルト (M5 × 25) (4 本)</p>	<p>レンジフードとの固定に使用します。</p>
	<p>ストッパー (ゴム) (2 枚)</p>	<p>ワイヤーカバー下とパイプカバー下の任意の高さでの仮止めに使用します。</p>
	<p>スパナ (1 個)</p>	<p>フード側の吊りボルト固定用のフランジ付きナット (M10) の固定に使用します。 ※アフターサービスで使用するため、大切に保管してください。</p>
	<p>特寸ワッシャー (外径φ 22) (2 個)</p>	<p>吊りボルトの固定に使用します。</p>
	<p>スプリングワッシャー (M10) (2 個)</p>	
	<p>ナットアンカー (M10) (2 個)</p>	

取り付けかた

1. 付属品の確認

**注意**

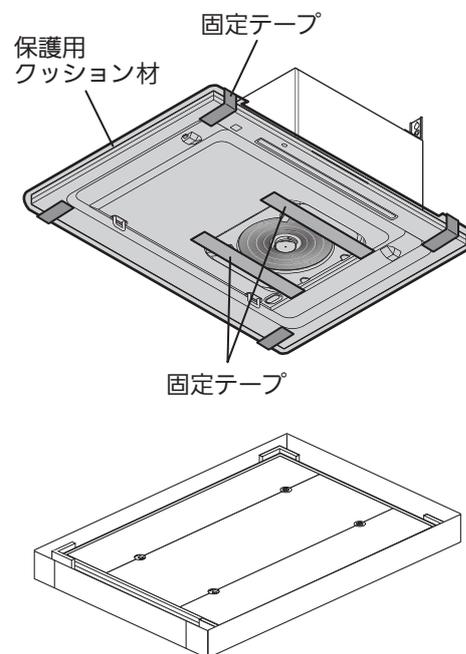
 手袋をする	<ul style="list-style-type: none">● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります	
 取扱注意	<ul style="list-style-type: none">● 作業は 2 人以上でおこなうこと レンジフードは最大 34kg、ワイドスパンユニットは最大 15kg の重さがあります	

付属品を確認します。

レンジフード側、ワイドスパン側それぞれの梱包箱から付属品を取り出し、10～12ページの付属品一覧により不足がないか確認してください。

お願い

- ・ 保護用のクッション材と固定用テープはキズ、破損防止のため、それぞれ「5. 本体の取り付け」(20 ページ)、「8. ワイドスパンユニットの準備」(24 ページ) まではずさないでください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。



取り付けかた

2. 排気方向の決定

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください

注意



使用禁止

- 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

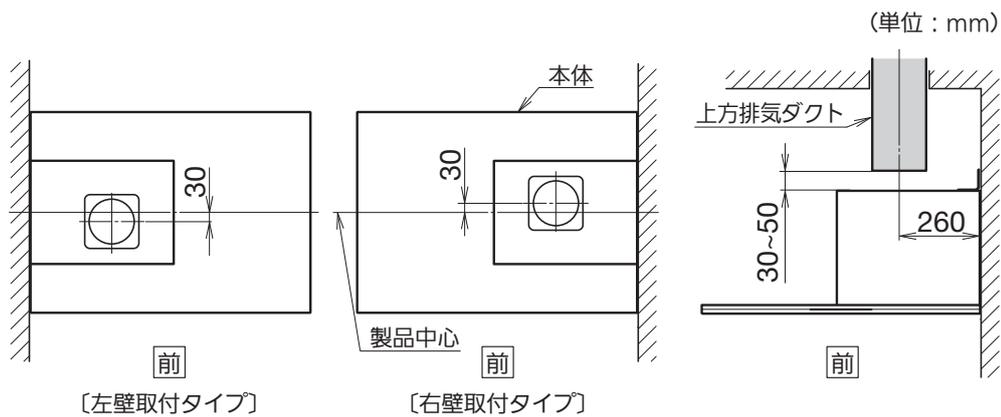
火災・故障の原因になります

取り付けかた

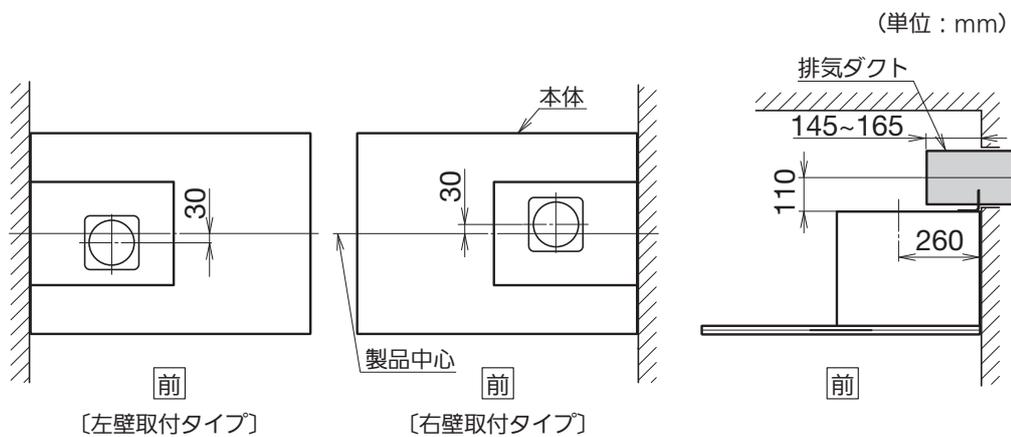
1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。
また、コンセントの位置を確認してください。（「10. 電気配線」33 ページ参照）

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。（コンクリート、タイル、土壁の場合）

■上方排気の場合



■後方排気の場合（別売のL形ダクトを使用する場合）



取り付けかた

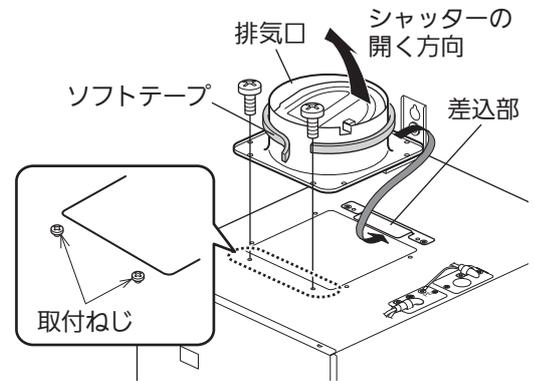
3. 排気用部品の準備

※「1. 付属品の確認」(13 ページ)の項で取り出した排気口を用意してください。

■上方排気の場合

- 1) 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
- 2) 本体に付いている取付ねじ 2 本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けます。

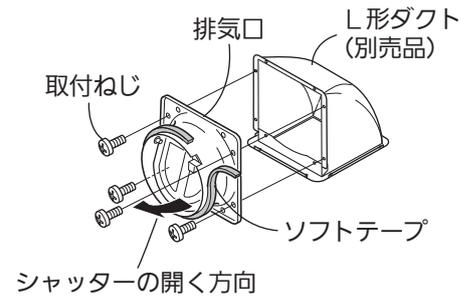
※ 取付方向は右図を参照してください。



■後方排気の場合 (別売の L 形ダクトを使用する場合)

排気口に付属品のソフトテープを貼り、L 形ダクトに取り付けます。取付方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転していないときはシャッターが閉じるように取り付けます。排気口は、L 形ダクトに付属している取付ねじ (M4 × 8) 4 本で L 形ダクトに取り付けてください。

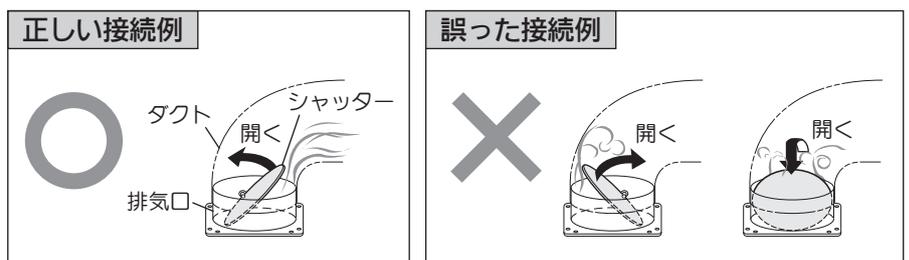
※ 本体への取り付けは、本体の取り付け後におこないます。
(「6. ダクトと排気用部品の接続」22 ページ参照)



お願い

L 形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。

右図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異音の原因になります。



取り付けかた

4. ワイドスパンユニットの取付準備

警告



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

火災などの原因になります

詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります

1 事前に大工工事業者へ、吊りボルトやワイヤー取付用の天井裏の野縁の加工、天井面への加工を依頼してください。

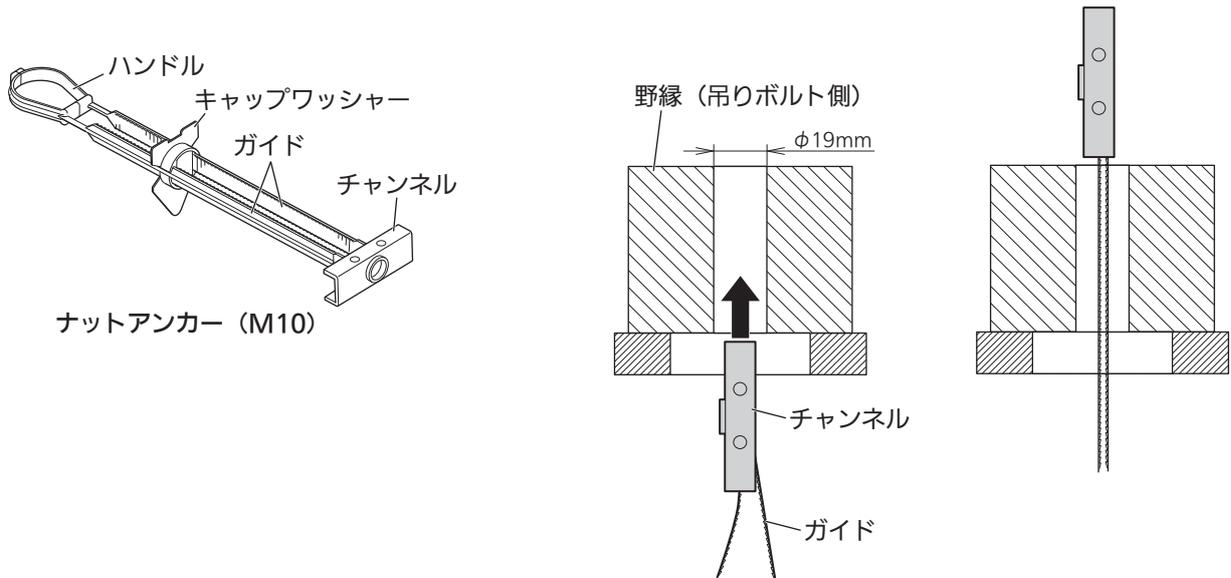
取り付けかた

次の手順2～6では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・ナットアンカー (M10)	2個
・特寸ワッシャー (外径φ 22)	2枚
・スプリングワッシャー (M10)	2個
・高ナット (M10 × 25)	2個

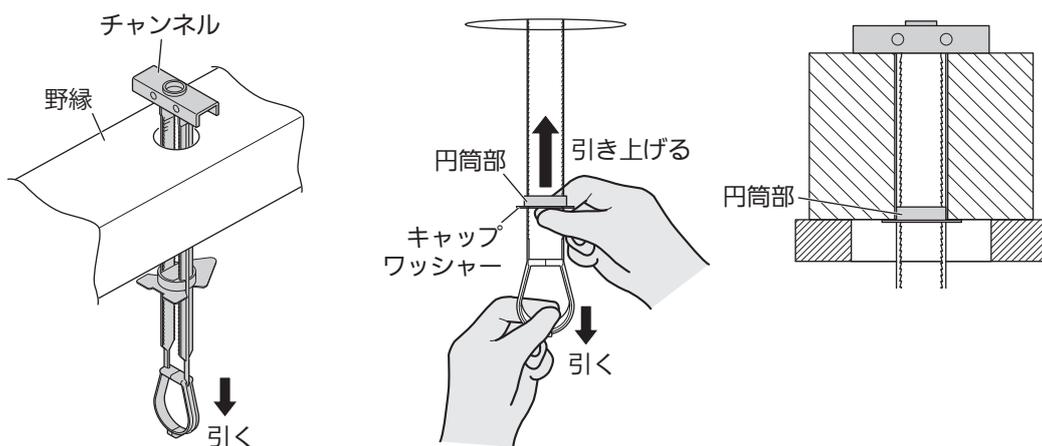
2 付属品のナットアンカー (M10) を吊りボルト側の野縁に取り付けます。

- 1) ナットアンカー (M10) のチャンネル部分をガイドに沿わせるように重ねた状態で持ち、そのまま野縁下側から吊りボルト取付用穴 (φ 19mm) へチャンネル部分を差し込みます。

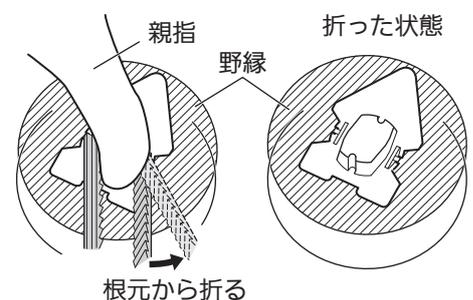


- 2) ナットアンカー (M10) を軽く引いてチャンネルが野縁に確実に引っ掛かったことを確認してから、キャップワッシャーを野縁に付くまで引き上げます。

※ キャップワッシャー円筒部を野縁の穴に入れ、がたつきがないようにしっかり野縁に押し付けてください。



- 3) 親指をガイドの間に入れ、ガイドを左右方向に数回折り曲げて、ガイドを根元から折ります。



取り付けかた

3 必要に応じて吊りボルトをカットします。

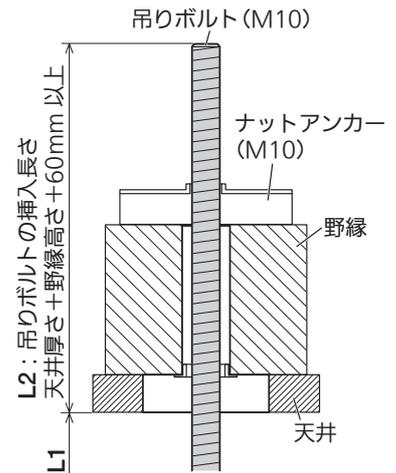
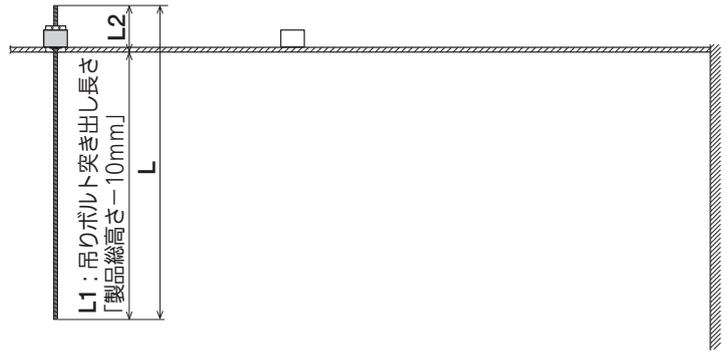
右図を参照し、次式により吊りボルト長さ (L) を算出して、必要に応じて吊りボルトをカットしてください。

$$L = L1 + L2$$

$$L1 = \text{製品総高さ} - 10\text{mm}$$

$$L2 = \text{天井厚さ} + \text{野縁高さ} + 60\text{mm 以上}$$

(L) : 吊りボルト長さ
 (L1) : 天井からの吊りボルトの突き出し長さ
 ※ 製品総高さが 760mm の場合、吊りボルト突き出し長さは 750mm となります。
 (L2) : 天井への吊りボルトの挿入長さ



4 吊りボルトを野縁に固定したナットアンカー (M10) に挿入します。

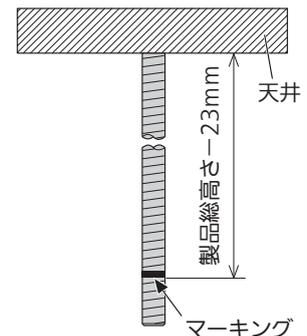
吊りボルトの突き出し長さ (L1) は、± 5mm の長さとなるようにしてください。

※ 吊りボルトが指定の長さになっていないと、部品どうしが干渉する場合がありますのでご注意ください。

5 ワイドスパンユニット用の吊りボルトに、指定のワイドスパンユニット引掛け位置をマーキングをします。

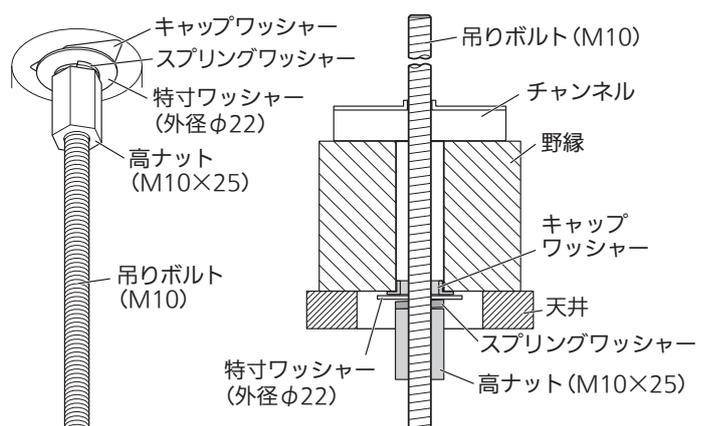
指定のワイドスパンユニット引掛け位置は、天井面から「製品総高さ - 23mm」です。

※ 製品総高さが 760mm の場合、天井面から 737mm の位置となります。



6 吊りボルトにワッシャー・ナット類を取り付けます。

ワイドスパンユニット用の吊りボルト 2 本に、付属品の特寸ワッシャー (外径φ 22)、スプリングワッシャー、高ナット (M10 × 25) の順でナットアンカー (M10) に通し、野縁に固定します。



取り付けかた

5. 本体の取り付け

注意



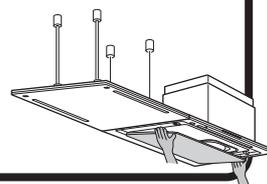
取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



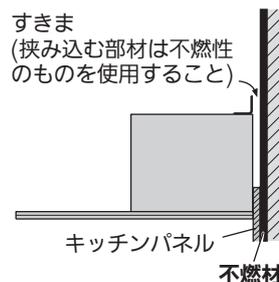
取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



お願い

- ・レンジフードの前後および左右方向の水平を確実にだしてください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ（油）が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
- ・キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

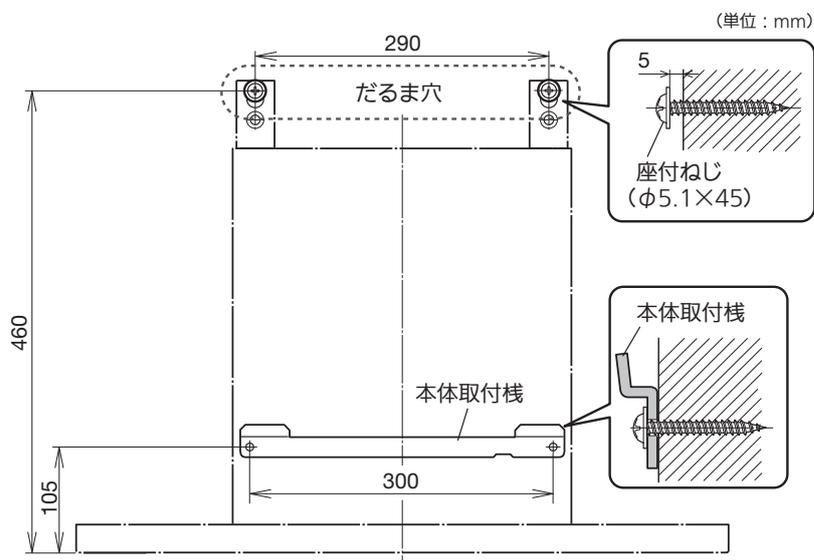


1 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。

製品寸法図を参照し、だるま穴位置（左右各1ヶ所）に付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。

2 本体取付棧を取り付けます。

製品寸法図を参照し、本体取付棧の取付位置に付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）2本で本体取付棧を固定します。



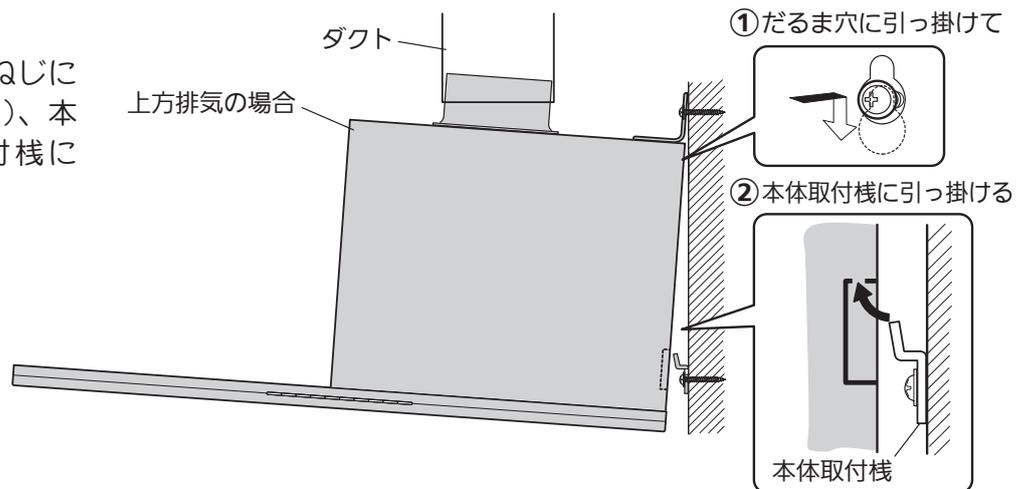
取り付けかた

3 本体を引っ掛けます。

本体のだるま穴を座付ねじに引っ掛けながら (①), 本体背面の溝を本体取付棧に引っ掛けます (②)。

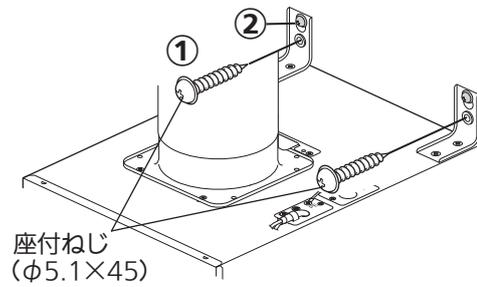
お願い

上方排気の場合はダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。



4 本体を固定します。

- 1) だるま穴下の $\phi 9$ 穴 (左右各1ヶ所) に付属品の座付ねじ ($\phi 5.1 \times 45$) をしっかりと締め付けます (①)。
- 2) だるま穴の座付ねじ ($\phi 5.1 \times 45$) をしっかりと締め付けます (②)。

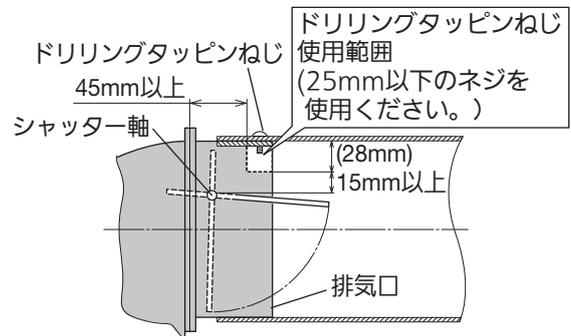


取り付けかた

6. ダクトと排気用部品の接続

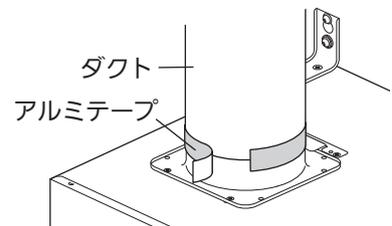
お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図を参照してドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。



■上方排気の場合

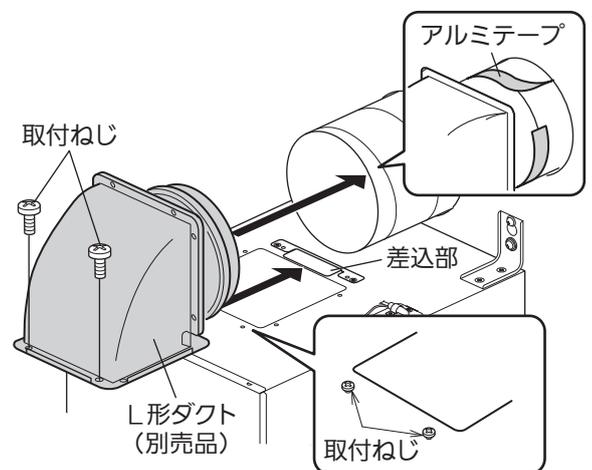
ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。



■後方排気の場合（別売のL形ダクトを使用する場合）

1 排気口を取り付けます。
本体排気口取付位置に取り付けられている取付ねじ2本をはずした後、L形ダクトを本体上部の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、はずした取付ねじ2本で取り付けます。

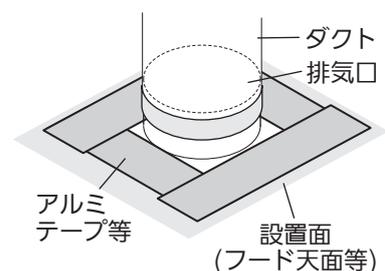
2 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。



■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面（製品天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。

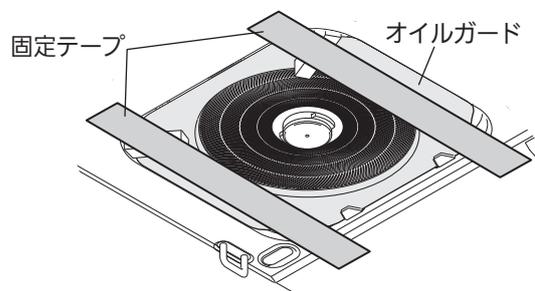
風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



取り付けかた

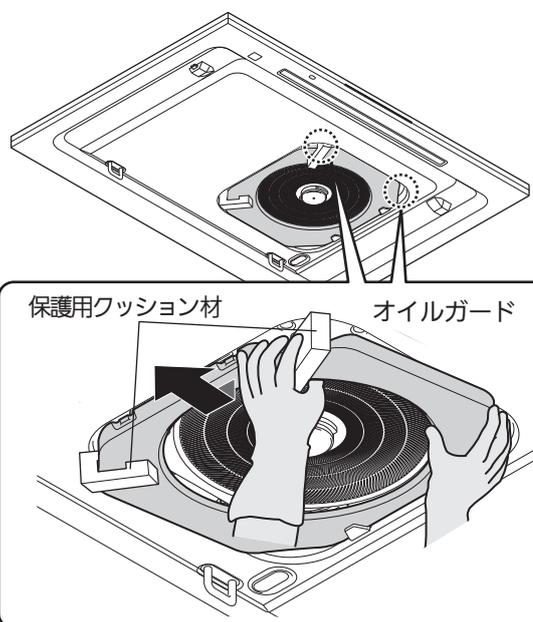
7. 整流板の取り付け

1 オイルガードの固定テープをはずします。



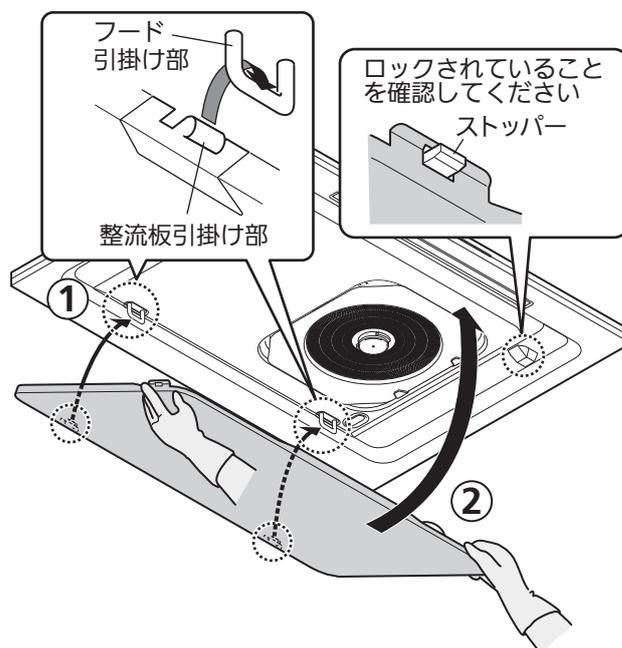
2 保護用クッション材をはずします。

オイルガードの手前側左右のすきまに指をかけ、オイルガードを矢印方向に引いて本体からはずし、保護用クッション材（2個）をはずします。
※ 保護用クッション材をはずした後は、オイルガードをもとどおりに取り付けてください。



3 整流板を取り付けます。

- 1) 奥側左右の整流板引掛け部をフード引掛け部に確実に引っ掛けます（①）。
- 2) 整流板を両手で支えながら手前側を上を持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロックします（②）。
取り付け後は整流板を上下に動かし、はずれないことを確認してください。



お願い

整流板の固定は、確実にこなってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

取り付けかた

8. ワイドスパンユニットの準備

お願い

- ・キズ防止のため、以下の作業は梱包材に載せたままの状態でおこなってください。
- ・はずしたねじは取り付けの際に使用しますのでなくさないでください。
- ・はずした部品は変形させないように、平らな場所に置いてください。また、はずした部品で床などにキズをつけないようご注意ください。

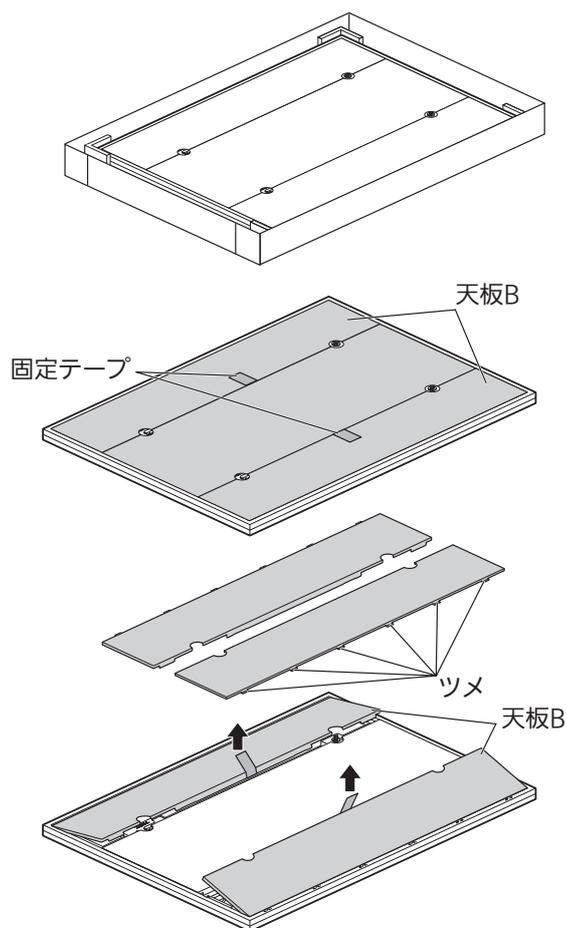
1 天板 B をはずします。

※ 青色の保護フィルムの天板面だけをはがして天板の取りはずしをおこなってください。

ワイドスパンユニットの固定テープを引き、天板 B を斜めに持ち上げてツメ 6ヶ所をはずします。

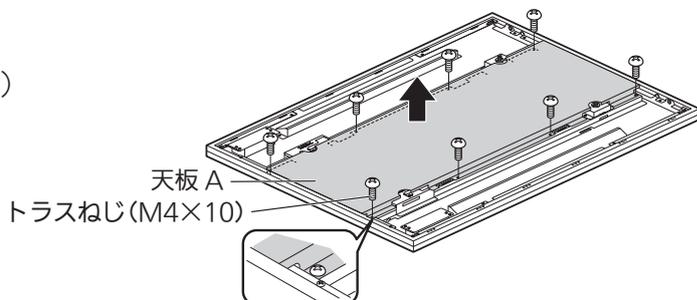
お願い

天板 B を変形させないようにご注意ください。



2 天板 A をはずします。

天板 A を固定しているトラスねじ (M 4 × 10) 8本をはずし、天板 A をはずします。



3 ステンレスパイプを指定の長さにカットします。

付属品のステンレスパイプ (2本) をパイプカッターなどの工具で、製品総高さ - 100mm ± 5mm にカットしてください。

※ 製品総高さが 760mm の場合、パイプ長さは 660mm となります。

※ ステンレスパイプのカットは現場にて実施してください。

※ 青色の保護フィルムをはがさずにカットしてください。

取り付けかた

9. ワイドスパンユニットの取り付け

⚠ 注意



取付注意

- ワイドスパンユニットの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと

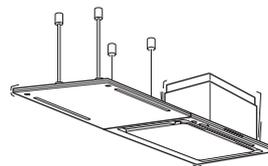
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実にこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



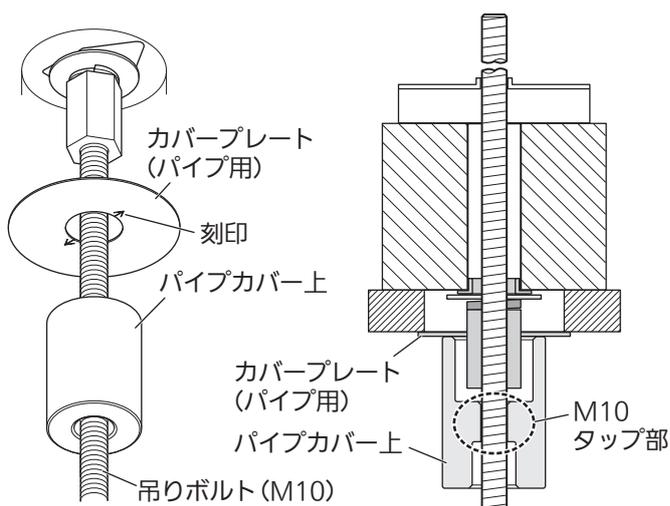
次の手順1～4では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・カバープレート（パイプ用）	2枚
・パイプカバー上	2個
・ステンレスパイプ	2本
・パイプカバー下	2個
・ストッパー（切り離れた外側を使用）	2個
・フランジ付きナット（M10）	6個

1 吊りボルトにパイプカバー上、カバープレートを取り付けます。

- 1) ワイドスパンユニット用の吊りボルト2本に、付属品のカバープレート（パイプ用）、パイプカバー上（M10、タップあり）の順に通します。

- 2) パイプカバー上を回して、天井面に固定します。



お願い

- ・カバープレート（パイプ用）の保護フィルム（半透明）をはがして取り付けてください。
- ・カバープレート（パイプ用）には目の方向が刻印されています。刻印の方向をワイドスパンユニットの長手方向に合わせて取り付けてください。また、刻印の面がおもてになるように取り付けてください。
- ・パイプカバー上は締めすぎないようにご注意ください。クロスよじれや、天井面の破損の原因になります。

取り付けかた

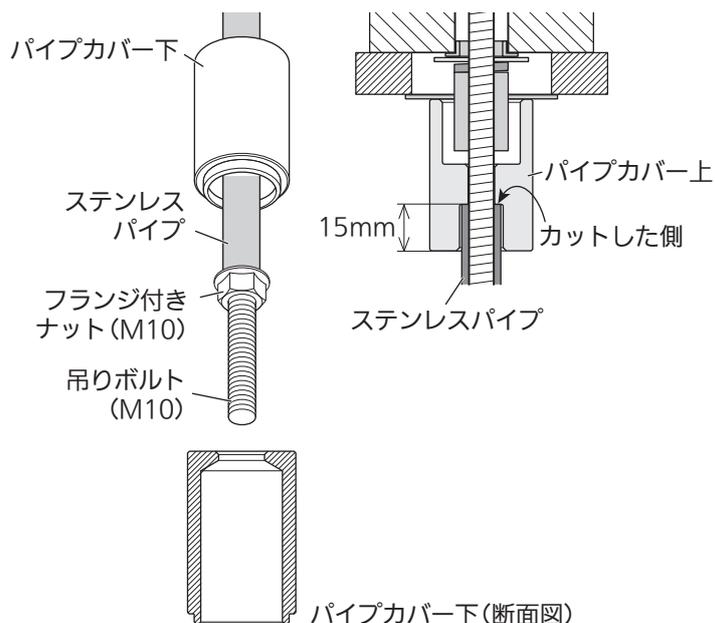
2 ステンレスパイプをワイドスパンユニット用の吊りボルトに通します。

1) 「8. ワイドスパンユニットの準備」手順3 (24 ページ) にて指定の長さにカットしたステンレスパイプ (2 本) を、手順1で取り付けたパイプカバー上の穴の奥まで突き当てます。

※ ステンレスパイプは、カットした側が天井側となるように通してください。

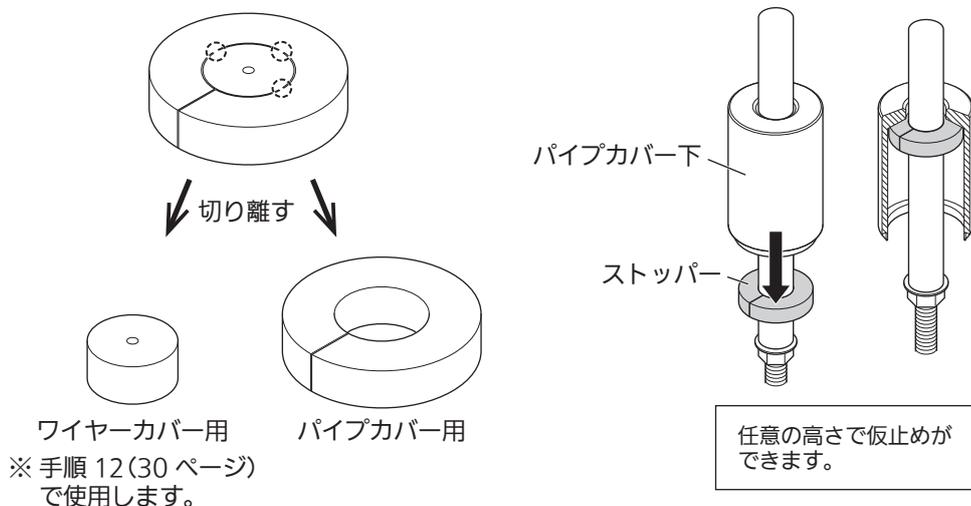
※ 青色の保護フィルムは、必要に応じて先端部分をはがして取り付けてください。

2) 付属品のパイプカバー下を通し、付属品のフランジ付きナット (M10) で固定します。



3 ストッパー (ゴム) を切れ込みで切り離し、パイプカバー用とワイヤー用に分離します。

※ ストッパーは右下図のように取り付けて、取付作業中にパイプカバー下、ワイヤーカバー下を作業しやすい任意の高さで仮止めするための部品です。

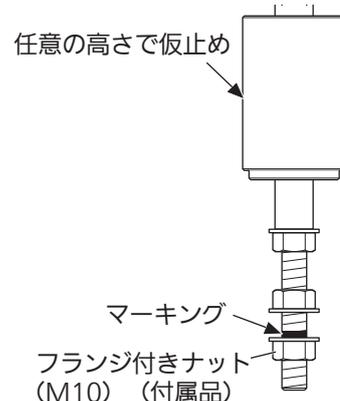


4 ワイドスパンユニット取付用の吊りボルトに、ナットを取り付けます。

※ 作業時は、パイプカバー下を作業しやすい任意の高さに引き上げ、右上図のようにストッパー (パイプカバー用) で仮止めしてください。

付属品のフランジ付きナット (M10) を各 2 個、吊りボルトに取り付けます。

上側のナットは任意の位置、下側のナットはマーキング位置に合わせて取り付けます。



お願い

ワイドスパンユニット取り付け用のナットに付属品以外のナットを使用すると、部品どうしが干渉する場合がありますのでご注意ください。

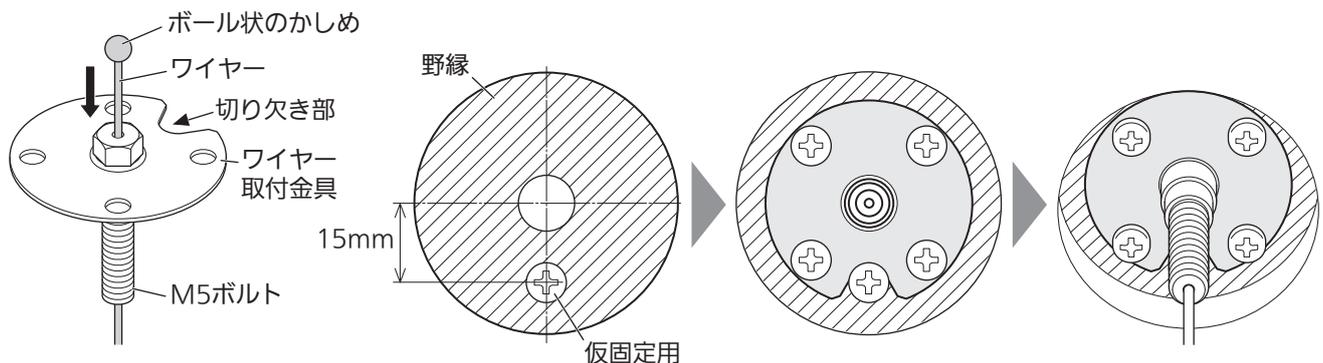
取り付けかた

次の手順 5～7 では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・ワイヤー取付金具	2 個
・木ねじ (φ 4.1 × 32)	10 本
・カバープレート (ワイヤー用)	2 枚
・ワイヤーカバー上	2 個
・ワイヤー	2 本

5 ワイドスパンユニット固定用のワイヤーを天井に取り付けます。

- 1) 付属品のワイヤー取付金具の M5 ボルト穴に、付属品のワイヤーを通します。
※ ワイヤーはボール状のかしめ部側を上にして通してください。
- 2) 下図の指示寸法位置に、付属品の木ねじ (φ 4.1 × 32) 1 本を野縁に取り付けます (仮固定用)。
※ ワイヤー取付金具の仮固定用のため、最後まで締め付けないようにしてください。
- 3) ワイヤー取付金具の切り欠き部を 2) で取り付けた木ねじに引っ掛け、木ねじ (仮固定用) をしっかりと締め付けます。
- 4) 残りの穴 4 ヶ所に、付属品の木ねじ (φ 4.1 × 32) 4 本を締め付けます。

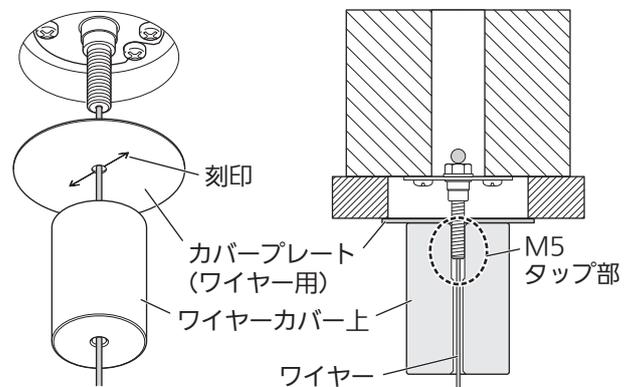


6 カバープレート (ワイヤー用)、ワイヤーカバー上を取り付けます。

手順 5 で取り付けたワイヤー取付金具のワイヤーに、付属品のカバープレート (ワイヤー用)、ワイヤーカバー上 (M5、タップあり) の順に通し、天井面に固定します。

お願い

- ・カバープレート (ワイヤー用) の保護フィルム (半透明) をはがして取り付けてください。
- ・カバープレート (ワイヤー用) には目の方向が刻印されています。刻印の方向をワイドスパンユニットの長手方向に合わせて取り付けてください。また、刻印の面がおもてになるように取り付けてください。
- ・ワイヤーカバー上を締めすぎないようにご注意ください。クロスよじれや、天井面の破損の原因になります。



取り付けかた

7 フード部のキズ防止のため、ワイヤー下側の先端にテープ等を貼り付けて保護します。

次の手順 8～12 では、右表の付属品を使用しますので準備してください。

・六角穴付きボルト (M5 × 25)	4 本
・スパナ	1 個
・ストッパー (切り離れた内側を使用)	2 個
・ワイヤーカバー下	2 個

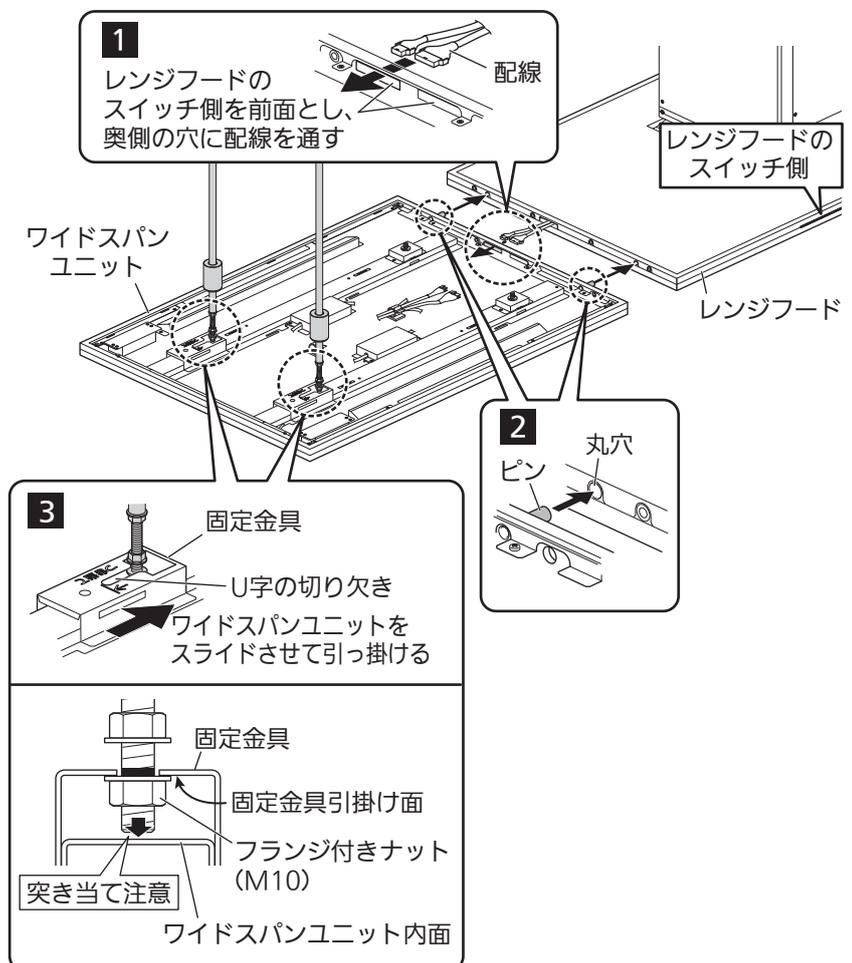
8 ワイドスパンユニットを水平方向にスライドさせて取り付けます。

取り付けの際、以下の作業を同時におこないます。

- レンジフード側から出ている電気配線 2 本をワイドスパンユニットの角穴に通す (**1**)。
- ワイドスパンユニット側面のピン 2 ヶ所をレンジフードの丸穴に挿入する (**2**)。
- 吊りボルトを固定金具の U 字の切り欠きに通し、下側のフランジ付きナット (M10) を引っ掛ける (**3**)。

お願い

取り付けの際、吊りボルトをワイドスパンユニット内面に突き当てないように付けてください。打痕の原因となります。



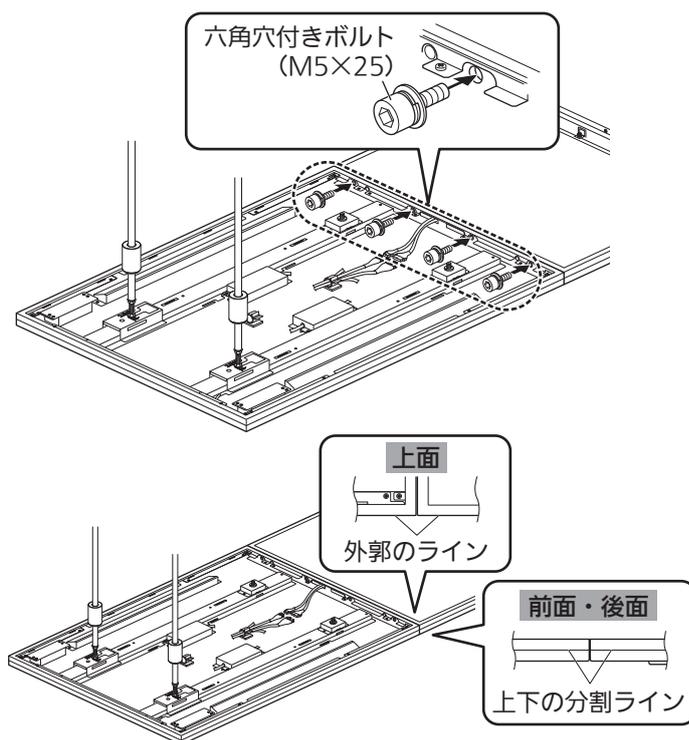
取り付けかた

- 9 付属品の六角穴付きボルト (M5 × 25) 4本でワイドスパンユニットとレンジフードを固定します。

お願い

六角穴付きボルト (M5 × 25) の固定の際は、右図に示すワイドスパンユニットとレンジフードの各ラインを合わせてください。

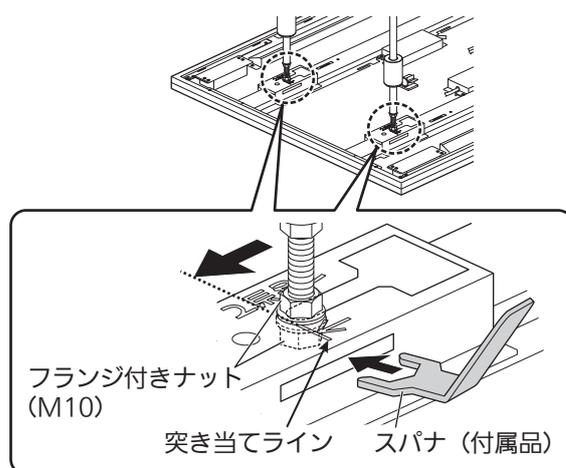
(締結面の丸穴とピン (前ページ手順 8 の 2 参照) には、本調整のため、あえて“あそび”を設けています。)



- 10 吊りボルトを固定金具の U 字の切り欠き穴の奥まで突き当て、固定します。

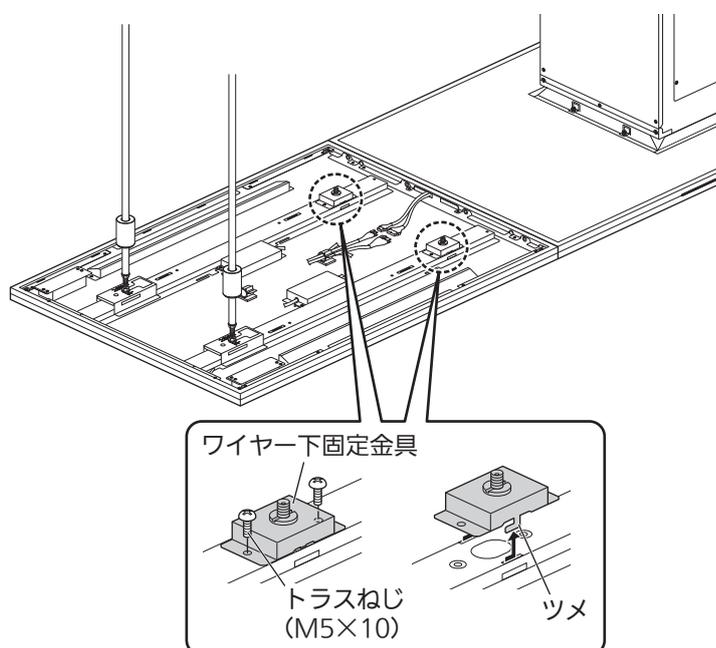
下側のフランジ付きナット (M10) は付属のスパナ、上側のフランジ付きナット (M10) は取付作業側手配のスパナ等を使用し、ナットをしっかりと締め付けます。

※ 吊りボルトを、固定金具表面に刻印されている突き当てラインまでしっかりと突き当てて締め付けてください。



- 11 ワイヤー下固定金具を固定しているねじ (トラスねじ M5 × 10) 各 2本をはずし、ワイヤー下固定金具 2 個を取りはずします。

※ ワイヤー下固定金具はツメで引っ掛かっていますので、横方向にスライドさせて取りはずしてください。

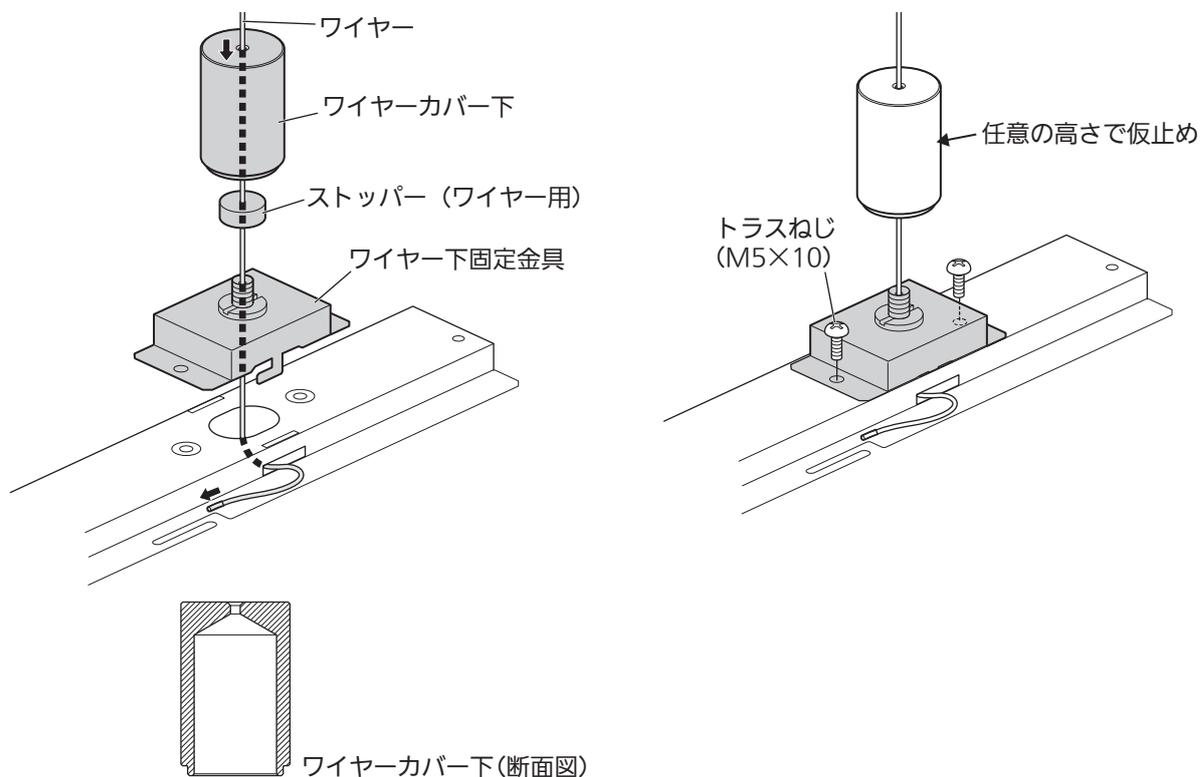


取り付けかた

12 手順 7 (28 ページ) でキズ防止のために貼り付けた保護テープ等をはがします。

※ 作業時は、ワイヤーカバー下を作業しやすい任意の高さに引き上げ、手順 3 (26 ページ) で切り離れたストッパー (ワイヤー用) で仮止めしてください。

- 1) 天井から垂れているワイヤーに、付属品のワイヤーカバー下、ストッパー (ワイヤー用)、ワイヤー下固定金具の順に通します。
- 2) ワイドスパンユニットの補強棧の角穴にワイヤーを通し、ワイヤー下固定金具を手順 11 (29 ページ) ではずしたねじ (トラスねじ M5 × 10) 各 2 本でワイドスパンユニットに取り付けます。



13 水準器等でワイドスパンユニットの水平を確認しながら、ワイヤーの長さを調整します。

ワイヤー側の高さを高くしたい場合

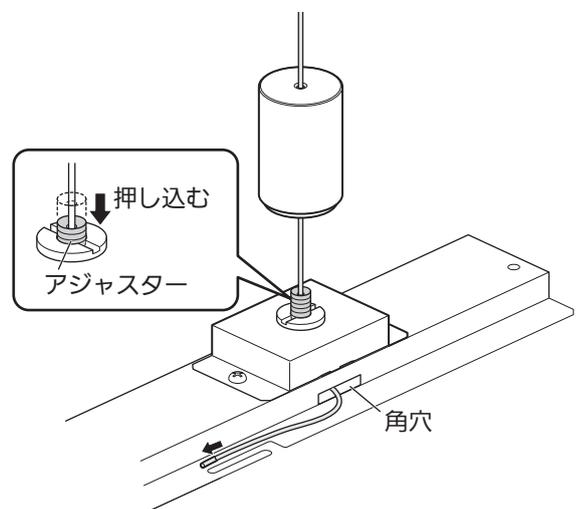
ワイヤー下取付金具の角穴からワイヤーを引っ張ります。

ワイヤー側の高さを低くしたい場合

アジャスター上部を押し込みながら、ワイヤーを上側に引っ張り上げます。

※ 吊りボルト側の高さを調整したい場合は、手順 10 (29 ページ) の作業でナットの高さ調整をおこなってください。

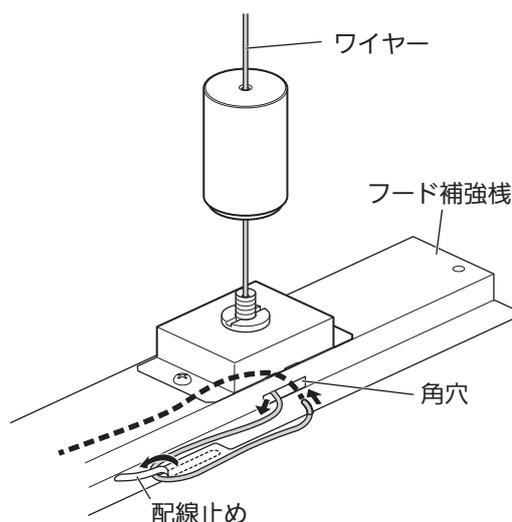
※ ワイドスパンユニットの質量を各吊りボルトとワイヤーでしっかり支えるために、ワイヤーはしっかり張った状態としてください。



取り付けかた

14 余ったワイヤーをフード補強栈の配線止めに引っ掛け、配線止めを反対側へ曲げて固定します。

残りのワイヤーはフード補強栈の角穴に入れてください。

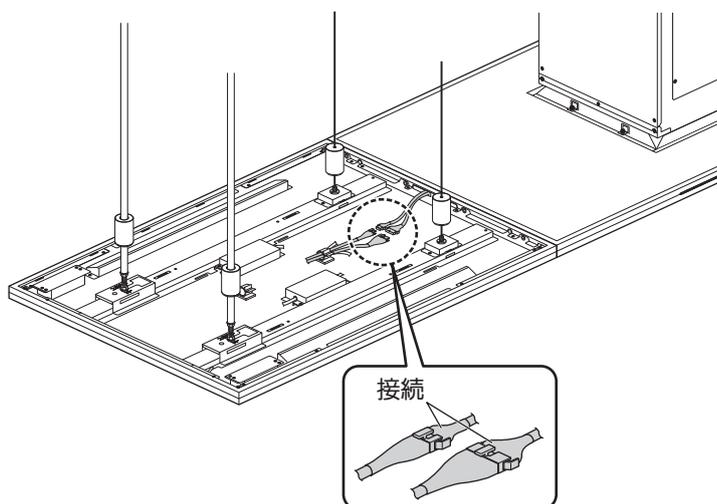
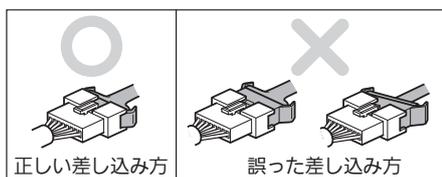
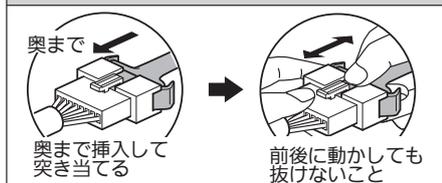


15 レンジフード側から出ている電気配線のコネクターをワイドスパンユニットの電気配線のコネクターに接続します。

お願い

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

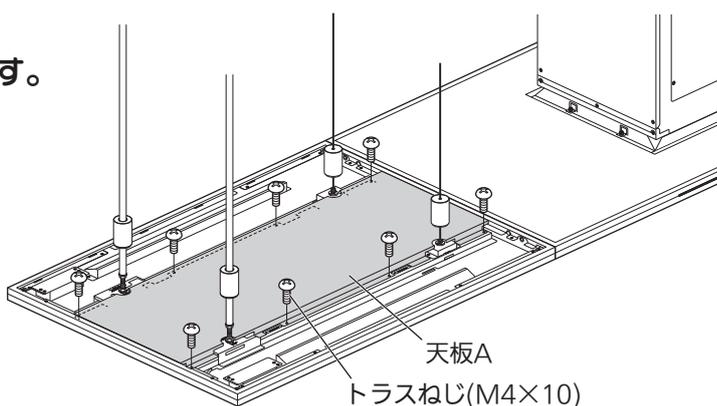
コネクターを挿入する場合



16 24 ページの手順 2 で取りはずしたトラスねじ(M4×10)8本で天板 A を取り付けます。

お願い

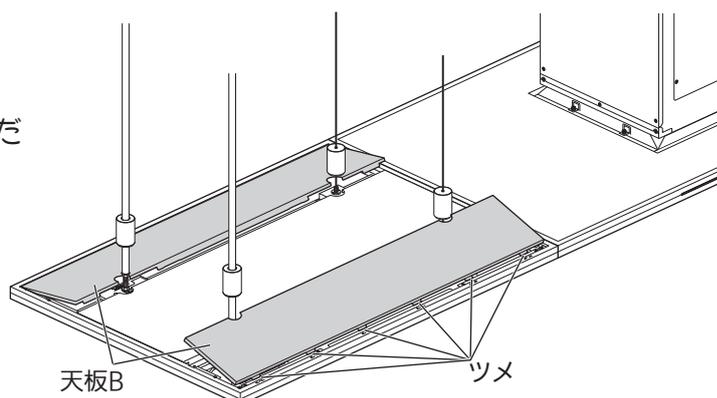
天板 A の端面でステンレスパイプやフードにキズをつけないようご注意ください。



取り付けかた

17 24 ページの手順 1 で取りはずした天板 B を取り付けます。

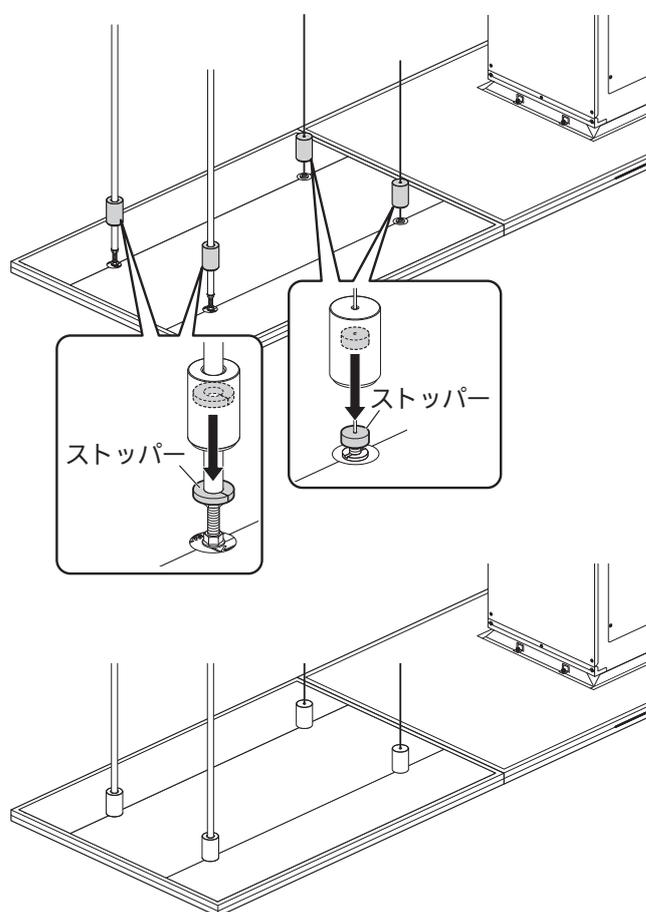
※ 水色の固定テープをはがして取り付けください。



18 パイプカバー下とワイヤーカバー下を仮止めしているストッパーを下まで下ろし、さらにそのまま下ろして天板 A、B の切り欠き部にはめこみます。

※ストッパーはアフターサービスでの作業性を考慮し、取り付けたままにしてください。

※ パイプカバー下とワイヤーカバー下は、上下および回転方向が固定されない仕様としています。

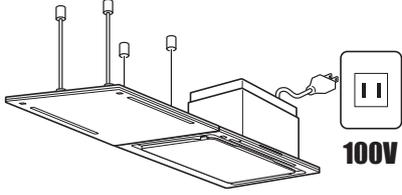


取り付けかた

10. 電気配線

警告

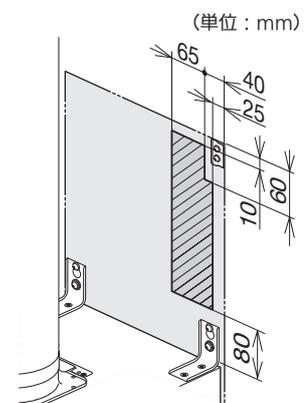
- **分解・修理・改造禁止**
 - 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- **使用禁止**
 - 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- **取付注意**
 - 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- **アースを取り付ける**
 - アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



■分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

- ・電源は専用のコンセント（2極接地極付差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- ・「12. 試運転」（35 ページ）までブレーカーは「入」にしないでください。
- ・コンセントは電源コードの長さを考慮し、関連法規に従って設置してください。コンセントの設置は、右図の斜線範囲内が推奨となります。
- ・必ずアース（D 種接地工事）をしてください。
- ・レンジフードの配線工事の際、壁スイッチを設置しないでください。

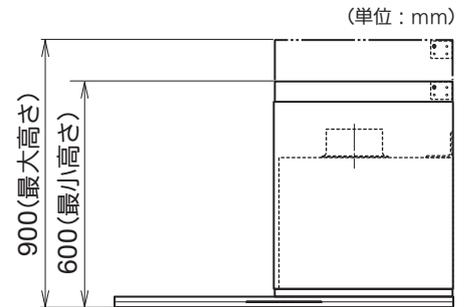


取り付けかた

11. ダクトカバーの取り付け

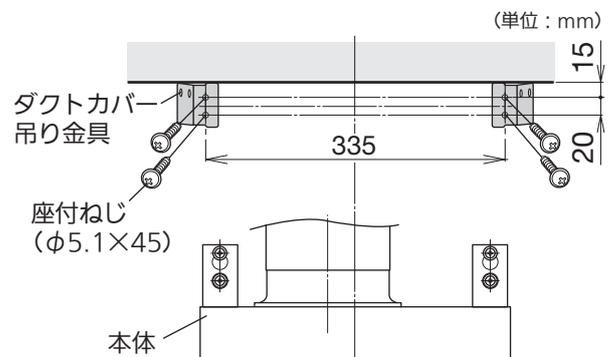
1 取付位置を確認します。

製品寸法図を参照し、ダクトカバー吊り金具の取付位置を確認します。



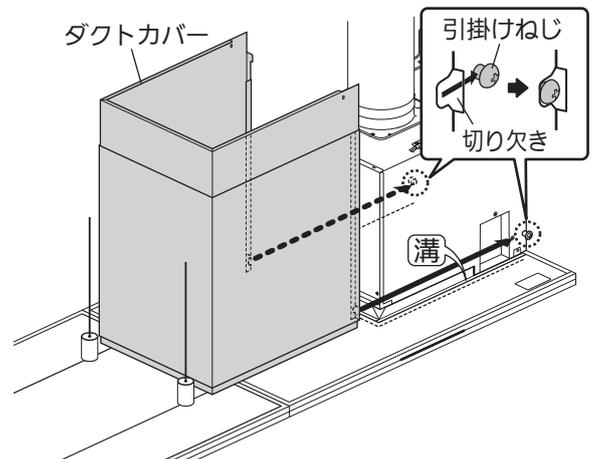
2 ダクトカバー吊り金具を取り付けます。

ダクトカバー吊り金具を図のように付属品の座付ねじ (φ 5.1 × 45) 4 本で取り付けます。
※ レンジフードのセンターに合わせて注意しながら取り付けてください。

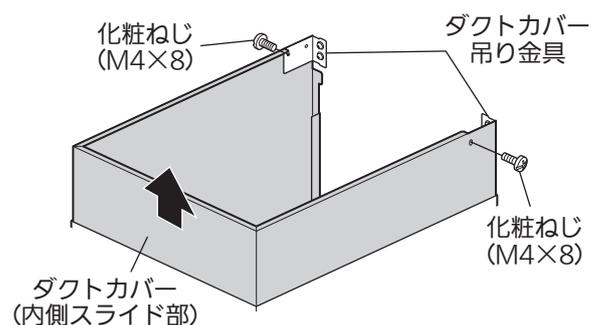


3 ダクトカバーを取り付けます。

1) ダクトカバーを壁際まで持っていき、引掛けねじの手前でフードの溝に置きます。
スライドさせながら、引掛けねじを切り欠きにはめ込みます。
※ 引掛けねじが切り欠きに確実にはめ込まれていることを確認してください。

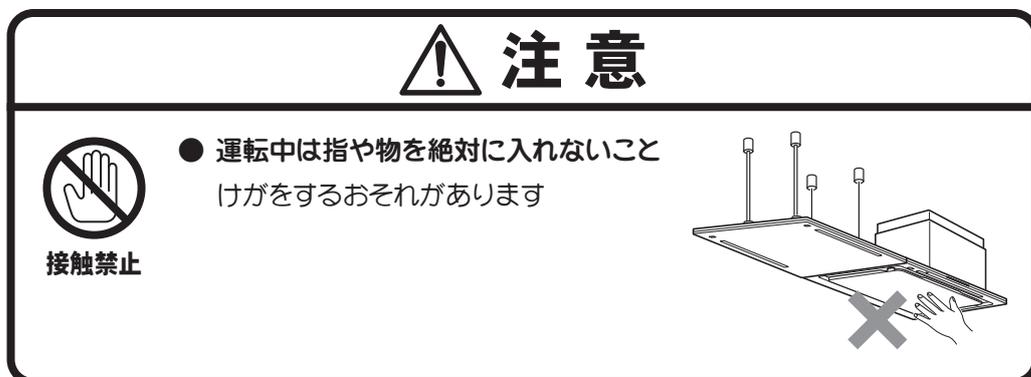


2) ダクトカバーの内側スライド部を天井まで引き上げ、付属品の化粧ねじ (M4 × 8) 2 本でダクトカバー吊り金具に固定します。



取り付けかた

12. 試運転



- 分電盤のブレーカーを「入」にし、レンジフードのスイッチとワイドスパンユニットの照明スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 必ず最終設置した状態で試運転してください。
- 整流板やディスクが正しく取り付けられていることを確認してください。
整流板が正しく取り付けられていないと、運転停止機能により運転ができません。
ディスクを取り付けていなかったり、取り付けが不完全な状態で運転すると、ディスク付け忘れお知らせ機能により、付け忘れをお知らせします。
整流板とディスクの取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はがした青色の保護フィルムをもとの状態に貼ってください。
- 風量おまかせ運転（風量自動切替）機能を正しくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

13. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

